

## 公益財団法人岩手県文化振興事業団第11回理事会議事録

- 1 開催日時 平成25年3月5日(火) 午後1時30分～
- 2 開催場所 岩手県民会館 第2会議室
- 3 出席者 理事総数 9名  
出席理事 9名  

理事長	池田 克典	理事	柴田 和子
理事	齋藤 哲子	理事	熊谷 常正
理事	原田 光	理事	中山 敏
理事	齋藤 信之	理事	菊池 和憲
理事	渡邊 和男		

  
監事総数 2名  
出席監事 2名  

監事	梅木 敬時	監事	久保隆男
----	-------	----	------
- 4 議長 理事長 池田 克典
- 5 決議事項  
議案第1号 平成24年度事業計画の変更について  
議案第2号 平成24年度収支補正予算について  
議案第3号 平成25年度事業計画(案)について  
議案第4号 平成25年度収支予算(案)について  
議案第5号 公益財団法人岩手県文化振興事業団給与規程の一部改正について  
議案第6号 公益財団法人岩手県文化振興事業団就業規程の一部改正について  
議案第7号 公益財団法人岩手県文化振興事業団借上住宅管理規程について

## 6 議事の経過の要領及びその結果

定刻理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は定款第35条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、次の議案の審議に入った。

### (1) 議案第1号 平成24年度事業計画の変更について

議長は議案第1号を上程し、埋蔵文化財センター参事及び博物館副館長より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なく、これを承認した。

### (2) 議案第2号 平成24年度収支補正予算について

議長は議案第2号を上程し、総務部参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、下記の質疑等を経て、全員これを承認した。

#### 【理事】

公5基金事業の事業費のうち、支払助成金が減額になった理由を教えてください。

#### 【総務部参事】

予算範囲内で応募枠を設け、募集を行っていたが、募集結果が予算を下回るものであったため、減額補正を行っているものである。

#### 【理事】

基金の助成対象となる事業は、助成予算額を超えない限り助成するものか、それとも、申請内容により選り分けているのか教えてください。

#### 【総務部参事】

助成対象事業については、基金審査委員会を設け、申請内容について助成要件及び条件等の審査を行い、助成の可否を決定しているものである。

#### 【理事】

公3博物館事業の事業収益のうち、分析保存処理業務受託収益が増額となっている。この事業の増額により、他業務にかかる影響について、どのように考えられているのか教えてください。

**【博物館副館長】**

増額理由は、被災文化財によるものが主である。現在の業務量は、通常業務にこの分析保存処理業務が加わり、業務量が例年より多くなっている。来年度についても、今年度と同程度の事業量が想定されているため、担当課長には通常業務との調整を行うように指示をしているところである。

**【監 事】**

公2埋文センター事業の事業費のうち、臨時雇賃金および旅費の減額理由を教えてください。

**【埋文センター参事】**

減額理由は、議案第1号による調査面積の変更にともなうものである。

(3) 議案第3号 平成25年度事業計画(案)について

議長は議案第3号を上程し、各事業所より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、一部修正することとして、全員これを承認した。

**【理 事】**

各事業所が震災復興関係の事業に取り組むという計画を組まれているようだ。平成25年度事業計画(案)前文に、事業団が復興に対して積極的に関わっているという一文を加えてはどうだろうか。これにより各事業のアピールに繋がるのではないだろうか。

**【総務部参事】**

理事の意見を参考に加筆修正させていただく。

**【理 事】**

岩手日報紙面でも記事となっていたようだが、埋文センター事業計画の復興関連に係る発掘調査について、発掘調査が住宅の建設に支障があるのでは、というイメージを被災地の方々が持たれてしまっている部分があるようだ。発掘調査は、地元の方々のご理解を得た上で行うという側面をもつ以上、当事業団の発掘調査は、復興に必要である、という地元へのきめ細やかな情報発信が重要である。なお、この件については、岩手に限った話ではないようだ。地元の方々に対して、発掘調査事業についてご理解して頂ける体制を組んでいただき

たい。

また、調査面積の拡大に係り、調査員は確保できているのかどうか教えていただきたい。

#### 【埋文センター参事】

平成 25 年度の調査体制は、調査予定面積に対して 48 人が必要数と想定している。不足数に対しては、大阪府文化財センターから 2 人、北海道埋蔵文化財センターから 1 人を出向して頂けることになっている。また、県教委からの派遣者は、2 名を要望中である。その他の補充人員としては、期限付調査員を雇用し、体制強化の充実を図っていく予定である。なお、必要とする期限付調査員 16 名のうち、現在 8 名が決まっておらず、今後も募集予定である。また、三陸国道事務所管内の事業は変動が見込まれているが、変動に対応して体制を整えられるよう計画するつもりである。

#### 【業務執行理事】

発掘調査区域の公開については、一般の方々へ調査の様子をご覧頂けるように、通常から配慮している。秋に現地説明会を開催したところ、100 名余りの参加があり、関心の高さが伺えた。今後ともできるだけ進捗状況を現地の方々にご覧頂けるよう努めるつもりだ。

#### 【理 事】

県民会館事業の自主文化事業に係る参画型・育成型事業で開催していた「県民オペラ」について、1 回目は良い印象を得たが、2 回目は残念な印象であった。長期展望の検討の意味も含めて、平成 25 年度の事業計画からは、おそらく削除されたようであるが、この事業は中止としたのか、それとも練り直しという意味で休止としているのか、削った理由について教えていただきたい。

#### 【県民会館参事】

事業の削減については、結果を踏まえ予算的な理由も要因である。しかしながら、当事業については、多方面より検討し、これからの課題とさせていただきたい。

(4) 議案第4号 平成25年度収支予算(案)について

議長は議案第4号を上程し、総務部参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、下記の質疑等を経て、全員これを承認した。

**【理事】**

埋文センター事業の臨時雇賃金の増額は、単価増もしくは人数増によるものか教えていただきたい。

**【埋文センター参事】**

増額理由の要因は、単価及び人数によるものである。賃金単価については、現地との均衡及び人員の確保から考慮して増額を予定しているものであり、人数については、調査面積総量の増加に伴い、作業員数の増を予定しているものである。

**【理事】**

宮城県では、賃金が低額のため人員が集まらなかったという経緯があるそうなので、心配りをお願いしたい。

(5) 議案第5号 公益財団法人岩手県文化振興事業団給与規程の一部改正について

議長は議案第5号を上程し、総務部参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、下記の質疑等を経て、全員これを承認した。

**【理事】**

事業団から職員を派遣することもあるのか教えていただきたい。

**【総務部参事】**

受け入れるのみであり、当事業団から職員の派遣はない。

(6) 議案第6号 公益財団法人岩手県文化振興事業団就業規程の一部改正について

議長は議案第6号を上程し、総務部参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、

その賛否を諮ったところ、全員異議なく、これを承認した。

(7) 議案第7号 公益財団法人岩手県文化振興事業団借上住宅管理規程について

議長は議案第7号を上程し、総務部参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なく、これを承認した。

## 7 報 告

(1) 職務執行状況の報告について

池田理事長報告

事業実施状況（全体）について

菊池理事（業務執行理事）報告

県民会館事業実施状況について

渡邊理事（業務執行理事）報告

埋蔵文化財センター事業実施状況について

齋藤（信）理事兼事務局長（業務執行理事）報告

①博物館事業実施状況について

②美術館事業実施状況について

③総務部事業実施状況について

職務執行状況について、別紙資料に基づき、上記のとおり理事長並びに業務執行理事3名より報告があり、全員意見なく、これを承認した。

## 8 その他

### 【理 事】

過去数年来、博物館は入館者を動員できていない印象にあった。事業報告からは、策を設けられているようであり、事業に対して良い印象を受けた。

### 【博物館副館長】

動員数に関しては、様々工夫しているところである。時代に沿った形で、

広い意味で県民へのサービスを考えている。理事からの支援も感謝しているところである。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、午後3時15分閉会を宣し、解散した。